

# 謹賀新年

令和5年

新年のごあいさつ

あけましておめでとうござい  
ます。

皆さまにおかれましては、輝  
かしい初春をお迎えのこととお  
慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の  
終息への道のりは、未だ半ばで  
あると判断せざるを得ない状況  
です。市民の皆さまにおかれま  
しては、引き続き、基本的な感  
染症対策の徹底にご協力くださ  
いますようお願いいたします。

昨年は、いちご一会とちぎ国  
体・とちぎ大会が県内各地で開  
催されました。本市においては、  
正式競技として、ソフトボー  
ル、相撲、バドミントンが、公

開競技として綱引が、デモン  
トレーションスポーツとして、  
ダンススポーツ、リレーマラソ  
ン、スポーツチャンバラが実施  
され、全国の人々に大田原市の  
素晴らしさを知っていただけ  
たとともに、本市のスポーツ人口  
の更なる拡大に大きく貢献した  
ものと考えております。

さて、コロナ禍により私  
たちの生活は大きく変わりました。  
パソコンやタブレットなど  
を使用し、オンラインを活用し  
た様々な活動が増えてきていま  
す。このような新しい生活様式  
は、コロナ禍が終息しても一部  
は習慣として残るものと考えて

おります。

この習慣を人々の新しい価値  
観として捉え、地方創生に向け  
て実施する各種施策との融合を  
図ってまいります。

今後も、ワクチン接種等の感  
染症対策を行いながら、疲弊し  
た地域経済の回復とコロナ禍や  
物価高騰などにより生活が困難  
になった方々への支援のため、  
引き続き必要な施策を講じると  
ともに、ポストコロナ、ウィズ  
コロナを見据え、市が行う事業  
全体のバランスを取りながら各  
種事業を展開してまいります。

今年、大田原市を代表する  
イベントである「与一まつり」と  
「大田原マラソン」を3年ぶりに  
開催することといたします。こ  
の2つのイベントをとおして、  
市民の皆さまや関係団体の皆さ  
まとともに、大田原市全体を盛  
り上げ、地域の活性化を図って  
まいります。

私は、自分の住んでいるまち  
の素晴らしさに、市民の皆さま  
が改めて気づくこと、そして誇  
りに思うことが、地域が元気で  
あり続けるうえで、とても大切

なことだと考えております。こ  
れまで先人が築いてきた大田原  
市を「もっと良くしたい」という  
思いを、市民の皆さまとともに  
実現するため、全力で市政運営  
に取り組んでまいります。

本年が市民の皆さまにとりま  
して、素晴らしい年となります  
ことをお祈り申し上げます。新  
年のご挨拶とさせていただきます。

大田原市長  
相馬 憲一

